

平成23年6月27日

三次市長 増田和俊 様

三次市行財政改革推進審議委員会
会長 野原 建一

三次市行財政改革大綱（案）について（提言）

当審議委員会は、事務局から提出された次期行財政改革大綱（平成23年度～平成26年度）の原案について、協議を重ねてきました。

その結果、審議委員会での意見交換を踏まえて所要の修正がされており、大綱案は適当であるとの合意に至りましたので、ここに報告いたします。

次期行財政改革大綱の策定の背景には、人口減少、少子高齢化、地域主権改革の進展や平成27年度から地方交付税の優遇措置が段階的に縮小され、平成32年度には完全にその措置が廃止され、財政状態が激変するという危機的状況を予測します。

平成27年度以降も市民が活力と誇りを持って幸せに暮らしていくためには、この大綱の計画期間である平成23年度からの平成26年度の実践が非常に重要であります。

当審議委員会も三次市の持続的な発展に期待しつつ、委員たちは真摯な議論を重ねて、提言をまとめました。

市民・市議会・市が大綱に掲げる行動指針に基づき、一丸となって不退転の決意で行財政改革に取り組まれることを強く希望します。

市民への提言

「新しい公共」の考えに基づき、市民一人ひとりが公共サービスを支える一員の自覚を持ち、市政へ積極的に参画することを期待します。

市議会への提言

市議会におかれましては、議会内部で議員定数や報酬削減について議論が始まると聞いております。議会のスリム化、充実とともに議会機能・役割の強化を推進し、市民の負託に的確に応えられるような議論を期待します。

市への提言

- ・このような厳しい財政状態を徹底公開によって市民と情報を共有し、併せて外部監査機能を強化して乗り切っていただきたいと思います。
- ・市を構成する市民みんなが公共サービスを担っていこうという「新しい公共」の考え方によって、財政基盤の強化と人づくりを一体的に考え、職員の意識改革や人材育成のための研修の充実を望みます。
- ・厳しい財政状態の中で三次市が発展していくためには、行政政策の選択と集中により、将来に向けた必要な投資は行わなければなりません。中国横断自動車道尾道松江線の開通も予定されており、自主財源の確保、雇用の確保の面からも、さらなる交流人口を増やしていくような取組みを期待しています。
- ・推進計画策定後は、確実に計画を実施するため、計画の実現度をチェックする体制を確立していただきたいと思います。

三次市行財政改革大綱に基づいて、地域の絆を再構築して地域力を強化し、自立と共生を基本とする地域づくりを実現することを期待しています。

【三次市行財政改革推進審議委員】

会 長 野 原 建 一
副会長 堀 江 齋
委 員 山 田 知 子
委 員 鷲 尾 操
委 員 當 天 賢 二
委 員 今 澤 稔 子
委 員 元 吉 吉 樹
委 員 湯 藤 浩 康
委 員 村 山 朋 子
委 員 森 下 和 彦

(順不同)